

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212R202		母性看護方法論 (Maternal Nursing Practice)					母性看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	1	2	医学部看護学科	後期	木1	日本語		複数(共同)							
担当教員	氏名 小柳 麻央														
	E-mail mao-koyanagi@oita-u.ac.jp (小柳) 内線 5076 (小柳)														
授業の概要	周産期の看護を中心に、妊娠・分娩・産褥各期の女性と、胎児・新生児およびその家族を理解するための基礎知識と援助の基本を学び、母性看護の実践に向けた基礎を育成する。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	妊娠・分娩期の生理的変化およびハイリスク状態にある母子について理解し、家族を含めたアセスメントができる。							○		○					
目標2	妊娠・分娩期において生理的およびハイリスク状態にある母子とその家族へのセルフケア支援を含めた看護について説明できる。							○		○					
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								5		5					
授業の内容															
1	周産期看護とは														
2	妊娠期にある母子(胎児)の生理と正常逸脱およびそのアセスメント														
3	妊娠期にある母子(胎児)の生理と正常逸脱およびそのアセスメント														
4	妊娠期にある母子(胎児)の生理と正常逸脱およびそのアセスメント														
5	妊娠期にある母子(胎児)と家族の看護														
6	妊娠期にある母子(胎児)と家族の看護														
7	分娩期にある母子(胎児)の生理と正常逸脱およびそのアセスメント														
8	分娩期にある母子(胎児)の生理と正常逸脱およびそのアセスメント														
9	分娩期にある母子(胎児)の生理と正常逸脱およびそのアセスメント														
10	分娩期にある母子(胎児)と家族の看護														
11	分娩期にある母子(胎児)と家族の看護														
12															
13															
14															
15															
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	○	A:個人・グループテスト、教員フィードバック					工 そ 夫 の 他 の	TBL学習のプロセス(予習→個人テスト→グループテスト→チームアピール→教師からのフィードバック→応用課題)を通して主体的な学習活動の場とする。						
	B:意見の表現・交換		B:グループディスカッション												
	C:応用志向	○	C:チームアピール・応用課題												
	D:知識の活用・創造		:チームアピール・応用課題												
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	教科書および講義で紹介する参考文献を用いて、次回の学習内容について予習する(11.5h)													
	事後学修	教科書・個人・グループテストを用いて、講義で学んだ内容を復習する(11.5h)													
	想定時間合計	23													
教科書	・小林康江、中込さと子、荒木奈緒(2024):ナースング・グラフィカ 母性看護学 母性看護の実践、第3版、メディカ出版。ISBN978-4-8404-8161-8 ・医療情報科学研究所編集(2018):病気がみえるVol.10産科、第4版、メディクメディア。ISBN978-4-89632-713-7 ・医療情報科学研究所編集(2018):病気がみえるVol.9婦人科・乳腺外科、第4版、メディクメディア。ISBN978-4-89632-712-0														
参考書	適宜紹介する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験	80%	○	○								
	アクションレポート・課題提出	10%	○	○								
	TBLへの参加・取り組み（ピア評価を含む）	10%	○	○								
注意事項	TBL学習を効果的に進めるために、各自で事前学習を充分に行い積極的な意見交換を行うこと。											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	小柳麻央（看護師・助産師）											
実務経験を いかした教 育内容	母性看護領域における看護の役割や実際について、臨床事例を紹介しながら説明する。											